

宇治市会建水委

国の回答内容「納得できない」

宇治川・塔の島、土のう大量流出問題

市「責任の所在、原因分析改めて求める」

宇治市議会建設水道常任委員会(中路初音委員長)が28日開かれ、去る2月26日の降雨による水位上昇で、国が宇治川塔の島地区で実施していた河道掘削現場で、約2千袋の大型土のうが流出した問題で、市は直後に久保田勇市長名で「安全を揺るがし兼ねない重大な事故」と、事態を重く受け止め、徹底した原因の究明と安全対策、遅れた市への情報提供などへの対応策を求める申し入れを行っていたが、27日に国土交通省淀川河川事務所長から補足資料とともに市に文書回答があり、同委員会に内容を示した。回答内容について、各委員からは納得できるものでない、との指摘が相次いだ。

中間報告的な内容で、不満」とし、責任の所在を改めて6月にも回答が改められるとのことだが、各委員からは回答内容に対する不満の声が寄せられ、答弁に立った川端修副市長も「提出された資料には

在と原因分析、監督体制の強化を十分求めていく考えを示した。同河川事務所長から市に提出された資料では、土のう流失が引き起こされた原因として「構造設計にあたり、土のう部の遮水を考慮しなかった上に、これに伴う安定性の検討が不足していた」「施工にあたり、土のうの積み方において安定性を十分検討せず実施した

考えを伝えた。

条例化し、7月から市管理に

宇治市黄檗住宅
駐車場、料金5千円に
建て替え事業を進め

ている黄檗市営住宅が
5月末に竣工、8月に
入居が予定されるが、

市は6月議会に市営住宅
条例の一部改正条例
を提案する。市営住宅

では、団地の車両委員会
などに行政財産の目的
外使用のかたちで、

市が全体スペースを賃
与。利用者は月額20
00〜60000円の範囲
で地代として利用料

を間接的に市に納めて
いるのを、駐車スパー
ス1区画ごとに市と利
用者が直接契約を結ぶ
利用方式に改める。

黄檗市営住宅では7
月から、使用許可や駐

点が原因の推定」として考えられるとの報告が寄せられた。原因責任の所在や事故発生連絡の大幅な遅れへの対応、再発防止策など、明確で具体的な回答には至っておらず、市としても改めて、回答を求めていく